



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(☎) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

こども園HP



< 教育・保育理念 >

受容・信頼・貢献感

いきよう

ちか

ま

ま

こどもえんまつり
楽しみました！

ナーサリー(0、一、二歳児)は二月二十八日に、キンダー(三、四、五歳児)は二月四日に子どもえんまつりを行いました。各年齢の発達に合った遊びや一年間でできるようになったことや、経験してきたことを、保護者や地域の方に見ていただき、子どもたちの色々な成長が見られたまつりでした。

ナーサリー(0、一、二歳児)

ナーサリーの子どもたちは、保育者と一緒に体をいっぱい動かして動物になったり、ごっこ遊びをしたり、ダンスをしたりしました。言葉も年齢によりますが、声を発することを楽しみ、保育者とやりとりするかわいい声が聞こえていました。一年間大好きな保育者と過ごしながら、色々な事ができるようになってきた子どもたちです。



▲みんなで手をつないで「あぶくたつた」をしたよ♪ (2歳児)



▲畑に野菜を取りに行く遊びだよ～！ (0歳児)



▲みんなでオバケになって遊んだよ！ (2歳児)



▲よばれたら「は～い！」ってできるよ！ (1歳児)

キンダー(三、四、五歳児)

キンダーは好きな絵本の「ごっこ遊び」を楽しんでから、みんなで劇遊びを作りあげていきました。登場人物になりきって「こうやってしたらいいと思う」など意見や考えを出し、セリフや動きを決めていき、お友だちの思いも聞けるようになってきました。自分が出る場面をよく覚え、生き生きと取り組む姿が印象的でした。みんなで作ってきた劇遊びを見てもらってとても喜び、それぞれ大きな自信となりました。



▲こぶたとおおかみになってあそんだよ♪ (3歳児)



▲「かぐや姫」の大好きなプロポーズの場面です！ (5歳児)



▲フープのトンネルを通して行くぞ～♪ (4歳児)



▲まつぼっくりわんぱくだんで楽しんだよ♪ (5歳児)

喫茶コーナー

こどもえんまつりの両日、園児の表現あそびが始まるまでの間、ランチルーム等で喫茶をしました。調理師手やココアなどの飲み物を用意しました。



倉橋惣三の言葉

幼児を尊重するものにして初めて

その尊重すべき幼児を教育する

自分の事業を尊重することが

出来る。

「幼稚園雑草」より

(解説)

大きい子も小さい子もいます。前で引っぱる子や、寝そべっている子もいます。大人は後ろから(きつと、ほくそ笑みながら)見えています。一人ひとりが自分らしくありながら、一緒にいることが心地よい場所でありたいですね。

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイベルあるいは日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子ども心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

